

株式会社ペイルインテリア 代表取締役 金城貞美様から 女性の起業や経営などについて伺いました。

昨年の女性起業家応援プロジェクト（近畿経済産業局事業）でサポート賞を受賞されインテリアコーディネート事業や整理収納サービス（美整収）事業を軸に全国展開を目指されている株式会社ペイルインテリア代表取締役の金城貞美様から女性の起業や経営などについて伺いました。

- Q. 創業された動機や思いはどのようなことからですか。
- A. 心地よい空間、美しい空間で人は幸せになります。そういった感動空間を少しでもご提供したい、と思い創業いたしました。
- Q. 貴社の業務内容や今後のご計画などはどのようなでございますか。
- A. インテリアコーディネート及び整理収納作業（お片付けサービス）、講演を中心に活動しております。モデルルームやゲストハウス、サロンなどの商業施設から一般住宅のコーディネートまで幅広く手掛けております。インテリアや整理収納によって空間を整えるということを動画とスカイプのサービスによって忙しい皆様に簡単に取り入れるITを使った普及を今年からはじめました。小さなお子様から高齢者までこのサービスをご利用いただけるような取組みを今後も検討しております。
- Q. 事業を起こされて良かったこと、ご苦労されたことはございましたか。
- A. 私自身のライフワークバランスが自分自身でコントロールしてとれるようになったことで日々のストレスがなくなりました。また女性特有の知識や経験を活かせる仕事ですので、さまざまな女性から共感の声をいただけるのは非常にうれしいことです。苦労した点は、数々ありますが、1つ1つ地道にハードルと超えてきたと思います。

「モノ」を提供しているサービスではないので、このサービスを認知していただくまでは大変でした。

- Q. 上場企業も増加して参りましたが、関西はもう少し頑張りたいところですか。関西の活力アップには何が必要と思われますか。
- A. 関西ならではの、商売人としての覚悟や自信。もともと関西人が持っている、企業として信頼を培っていける人間力やコミュニケーション能力を最大限に生かしていきたいと私自身も思っております。
- Q. これから創業される女性の方に対してアドバイス等お願いします。
- A. 今はさまざまな働き方、多種多様の起業の方法が選べる時代となってきました。ただその分「前向きなのは後ろが崖だから」という覚悟も必要です。その事業に対して覚悟をもって、女性らしくしなやかに楽しくとにかくやってみてほしいと思います。一歩踏み出す勇氣、私もこの気持ちを常に忘れずに邁進していきたいです。

自宅にいながら3ヶ月で整理収納が学べます



かたづけの手序



「～スタン」の国々とは？ —中央アジアの5つの国—

「～スタン」という国名を聞いてみなさんの頭に浮かぶのは？ イスラム、テロ、危ない、怖い。そもそも、どこにあるのか分からない…。



(出所：Google Map)

「スターン」は「～な土地」の意味を持つ接尾語です。国名にこの語を持つ国家は、南・中央アジアに7か国あり、ユーラシア大陸中央の内陸部に位置しています。やはり、どこなのか分からない…？では、地図をご参照下さい。

今回は、この「スタン」地域のうち、私自身が合計7年滞在した「中央アジア」についてご紹介させていただきます。

「中央アジア」の定義についてここでは深く掘り下げませんが、日本では一般的に、1991年のソビエト連邦の崩壊により独立し誕生した共和国のうちの5か国であるウズベキスタン、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタンを指すものと理解できます。こう説明すると、多くの方が、納得したように「ああ、ロシアのことか」とおっしゃいます。違うー！「ロシア連邦」という国家とは別ものですねー…。

確かに、中央アジアでは今もロシア語が広く用いられており、1917年から74年間続いたソビエト体制の元、ロシアの影響も大きく受けました。

これ以前の19世紀には、その地政学的重要性に鑑み、ロシア帝国と大英帝国とがこの地域の争奪戦（いわゆる「グレートゲーム」）を繰り広げたわけですし、さらに、千年以上を遡った唐の時代には、東西貿易にあたっての主要ルートである「シルクロード」がこの地域を貫いていました。これらの悠久の時を経て、さまざまな政治的、経済的動機に基づき、あらゆる国家、民族、文化が多様に交錯してきた土地なのです。



(タジキスタンの首都ドゥシャンベのバザールと色とりどりのスパイス)

現地の人々の顔を見ると、この歴史を実感します。キルギスでは、道を歩けば「うちの親戚のおじさんか？」というような典型的モンゴロイド顔

の人々に遭遇します。但し、カザフ、キルギスは遊牧騎馬民族であるせいか、日本人より腰高で足長な傾向。ウズベク人はトルコ系なので全般的に浅黒くもう少しくっきりした容顔の人が多ですが、タジク人はバルシヤ系民族なので一段と濃い顔。私の現地駐在時代の日本人の友人に言わせると、「3メートル以内に近付いてほしくない」。彼女のタイプはすっきり顔だったのです。「でも、タジクの女性はすごくきれい」とのこと。この他、もちろん、減少したもののロシア系、韓国系などの人々もいます。



(カザフスタンの経済、文化の中心都市アルマトイ (奥は天山山脈の支脈))

5か国合計の人口規模は約6,500万人、大部分はイスラム教徒です。しかしながら、各国を個別にみると、人口、面積、経済規模、賦存資源、成長の進捗、産業構造、民族構成、信仰の程度などの点で大きく異なっています。

概ね共通しているのは、日本人に対し敬意を表してくれ、経済的余裕がないながらもホスピタリティ全開でもてなしてくれる人が多い点です。

昨年10月、安倍首相がこれら5か国を歴訪しました。天然資源の安定的確保、日本のインフラセールスなどに関する報道をご記憶の方もおいででしょう。

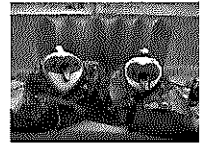
しかし、ここでそろそろ「てんこもり」読者の方は疑問がわいてくるはずですよ。

「それほど大規模ではない事業以外の潜在性はどうか？ ビジネス環境、チャンスは？」それを語るには割当字数が足りなくなりました。

しかたがありません。百聞は一見に如かずです、ちょっと行ってみませんか？ お伴します。

(撮影：アフマッド ラフモノフ)

大阪駅前第1ビル8階に入居され、注目されている新潟県の情報提供や企業進出のサポート等でご活躍されている「新潟県大阪事務所様」から最近の情報や魅力について伺いました。さらに詳しくは大阪事務所へお問い合わせ下さい。



(新潟県宣伝課長トッキキ)

Q：最近の大阪事務所の業務などをお教えてください。

A：①関西での新潟県の観光・物産のPRと、②関西の企業様の新潟県での工場や事務所の立地をサポートしています。特に、北陸新幹線の開業で近くなった新潟を、食を通してより親しんでいただこうと、平成26年4月に、ホワイト梅田にアンテナショップ「じよんのび にいがた」を設け、好評をいただいています。

Q：新潟県の最近の話題についてお教えてください。

A：昨年3月に北陸新幹線が金沢まで開業しました。大阪からサンダーバードで金沢まで行き、北陸新幹線に乗り換えると、新潟県南西部の糸魚川市・上越市まで約4時間に到着します。上越市の直江津港からは、高速船で佐渡へその日のうちに渡ることも可能になりました。関西からの旅行客も大幅に増えており、今後ますます交流が活発になると期待されています。

Q：新潟県の観光やグルメなどの魅力について教えてください。

A：まもなく桜の季節になりますが、新潟では、日本三大夜桜のひとつ上越市「高田城百万人観桜会」が開催され、雪国・新潟の花のシーズンが始まります。県の花・チューリップ、佐渡の秘境・大野亀のカンゾウなどが続き、夏には、大空に花火が打ち上がります。新潟県の温泉地の数は150か所で、全国3位。温泉に浸かり、本場のこしひかりと地酒、のどぐろなどの日本海の幸をご堪能ください。

Q：関西の企業や経営者へのメッセージをお願いします。

A：新潟県は、燕三条に代表される金属加工の産業集積があり、米を中心とした食品産業も集積していますので、関西の企業様の様々なものづくりのお手伝いができます。また、新幹線、高速道路、港、空港が整備されており、関東、東北、北陸を見渡せる位置にあります。日本海側唯一の政令市・新潟は80万人の人口を抱え、人材も豊富です。東日本への事業展開を考える上では、外せない県であると自負しております。新潟県についての関心事があれば、いつでもお気軽にご相談いただければ幸いです。

新潟県大阪事務所：大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8階 電話06-6348-9405



～下流老人の日本経済恨論～ <前編>

「下町ロケット」が示すもの 昨年末、大好評で終了したTVドラマ「下町ロケット」は、精密バルブ機器などを製造する大阪の(株)フジキンが、撮影に全面協力したことも大きな話題となりました。「てんこもり」紙上で再三「技術力のある中小企業が日本を救う」と書いていた私も、嬉しさが倍増しました。TVドラマを見て、あらためて「もの造り」の重要さ、素晴らしさを再認識させられました。折しも、世界レベルで地政学リスクが増大し、経済は大混乱に陥っています。各国は必死になって「金融緩和」に走り、金融政策だけで乗り切ろうとしています。逆に溢れ出す「マネー」に翻弄され、袋小路に陥っています。我が国も通貨価値を下落させ(*1)、輸出主導を展開しましたが、円安効果も剥げ落ちてきています。

(注1) 通貨の本当の実力を示す「実効為替レート」は、2010年を100とすると「円」は2015年1月時点で70.32。ドル113.37、ユーロ91.01 元131.30。

B I S (国際決済銀行) が公表。週刊東洋経済 (2015/10/10号) にも掲載

内需主導へ 「てんこもり」で何度も書いてきましたが(*2)、これを契機に内需主導の経済政策に切り替えるべきです。GDP (国内総生産) の6割を占める「国民の実質的な購買力」を取り戻し、高める方向への転換が必要です。老人世帯を中心に生活保護世帯が最多となり、あわてて低年金所得者に三万円の一時金支給を打ち出したり、若者向けへの携帯電話の料金引き下げや、非正規雇用が4割を占める現実を無視し、再び「官製賃上げ」を目指すなど、その場しのぎ、場当たり対策ばかりが目立ちます。生活感のないエコノミストたちが、「デフレマインドが払しょく」「値上げが浸透しつつある」とヨイショしながらも「原油安が誤算だが」と言い訳しており、見苦しいのひと言に尽きます。早朝、スーパーの前でお買い得チラシを握りしめ、列をなしている老人たちを目にする機会が多くなりました。買い貯めの効かない生鮮食品など、やむを得ず値上げを受け入れ、生活防衛に走る姿を目の当たりにし、同じ下流老人として、やるせない気持ちに陥ります。これを裏付けるように、公表資料によれば、実質的な消費支出は減少してきています。消費増税に象徴される今の政策は、極端な表現をすれば、庶民から大企業への「所得移転」であり、同時に国内から海外投機筋への「所得移転」といいいいでしょう。今すぐ消費税を縮小・廃止し「国民の実質的な購買力」を取り戻す必要があります。私は、「造られた財政危機」という立場を取っています(*3)。世界一の海外資産 (343兆円2015年6月末/日銀の資金循環統計より) を持つ企業、豊富な内部留保(*4)、海外投機筋の「円」買いなどの事実が、日本の国際的な評価を物語っています。

(注2) 2013/2 2013/8 2014/11 2014/12 (注3) 「てんこもり」2013年2月号ご参照。

(注4) 上場企業の手元資金は2014年度末で105兆円。総資産の12%に。実質無借金企業は1800社以上。55%の企業が無借金 (2015/7/9日経)。

「選択と集中」の恐さ 大企業は「選択と集中」という形で、将来有望な事業や技術を切り捨てる傾向にあります。開発予算は縮小され、M&Aに走って業容拡大を図る企業も多いのですが、複数の経済雑誌から「近年のM&Aの大半は失敗」と何度も指摘されています。外国人が3割以上を占める株主構成(*5)。「株主還元を！」「業績の向上を！」と矢継ぎ早の要請に、経営は短期志向となりがちです。グローバル化の美名のもとに、海外投機筋を中心とする金融資本の要望に応えようと焦り、早期に採算や事業化の目途が立たない事業は、「構造改革」の美名で切り捨てる傾向にあります。今や日本の独壇場となった「炭素繊維」や「LED」などは、気の遠くなるような時間をかけて技術開発し、事業化されました。とても残念ですが、関西育ちの三洋電機、シャープの凋落をみれば、経営判断の遅れも含め、事業を絞り込む「選択と集中」の怖さが痛感されます。 2016年1月12日・記

(注5) 日本取引所の調査では2014年度の株主構成で外国人は28.0%。信託、証券の名義をあわせると30%以上。

羽世田 敏四郎 (元・ベンチャーキャピタリスト)

～VEC関西より～

・真冬だというのに、今京都は観光客で溢れている。ホテルは全然取れないらしい。街には東洋人らしき人たちが、狭い歩道を横に広がり、大きな買い物の紙袋を3～4個ほど持ちぶらぶら歩いて、地元の人を非難を浴びている。爆買だ！京都経済にとっては良いのだろうが、マネーも勉強してほしいものだ。もうすぐ桜になり益々増えそうだ。(本田)

・週1回はスポーツをやっています。先日ボディケアのお試しで酸素カプセルに入る機会がありました。超有名なアスリートのスポンサーをされているメーカーです。アスリート達が利用するのが良く判ります！30分でしたが少し疲れが取れたような気分になりました。閉所恐怖症の方はご用心。(藤本)

・休日に自宅から大阪城の梅林公園までウォーキングで片道30～40分かけて歩きました。梅林公園は1000本以上の色々な種類の梅が咲き、又多くの綺麗な梅の木越しに見える大阪城もより一層映えて、あちらこちらから聞こえるシャッター音も納得のいく響きでした。(濱本)

・今注目されている女性経営者のお一人である金城代表や知ってるようで知らないことも多い「～スタン」について山中様から、また新潟県の出先機関としてご活躍中の白井所長代理と今回も鋭い分析を羽世田様からご寄稿頂きました。(澤村)

<交流会の予定>

平成28年4月18日(月) トーマツベンチャーサポート株式会社

監査法人トーマツ

主宰・マネジャー吉川和美様と

女性ベンチャー経営者

一般財団法人 ベンチャーエンタープライズセンター関西支部
〒541-0053 大阪市中央区本町2-3-6 本町ビジネスビル9階
TEL 06-6263-0366 FAX 06-4964-6293